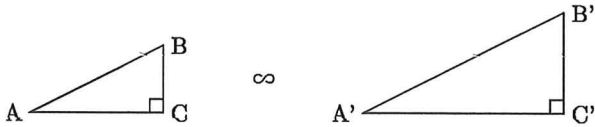


1 三角比

1.1 正弦・余弦・正接



2つの三角形が相似なとき,

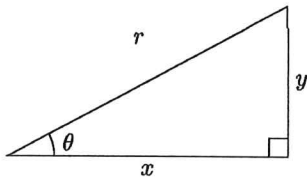
$$\frac{BC}{AB} = \frac{B'C'}{A'B'}, \quad \frac{AC}{AB} = \frac{A'C'}{A'B'}, \quad \frac{BC}{AC} = \frac{B'C'}{A'C'}$$

$\angle C = 90^\circ$ の直角三角形において、辺の比

$$\frac{BC}{AB}, \frac{AC}{AB}, \frac{BC}{AC}$$

の値は、 $\angle A$ の値のみによって決まる。

以上のことから ...



上図のように、鋭角の1つを θ , 各辺を x, y, r とする。
先に見た通り,

$$\frac{y}{r}, \frac{x}{r}, \frac{y}{x}$$

の値は θ の大きさのみで決まる。

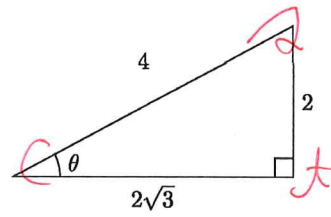
$\frac{y}{r} = \sin \theta$	正弦	
$\frac{x}{r} = \cos \theta$	余弦	
$\frac{y}{x} = \tan \theta$	正接	

★左下に θ , 右下に直角!

問題

以下の図形の $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$ の値を求めよ。

(1)

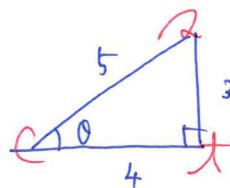
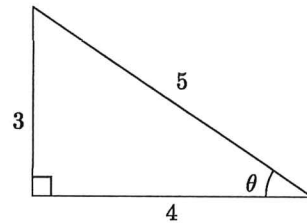


$$\sin \theta = \frac{2}{4} = \frac{1}{2}$$

$$\cos \theta = \frac{2\sqrt{3}}{4} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\tan \theta = \frac{2}{2\sqrt{3}} = \frac{1}{\sqrt{3}}$$

(2)



$$\sin \theta = \frac{3}{5}$$

$$\cos \theta = \frac{4}{5}$$

$$\tan \theta = \frac{3}{4}$$

—————

1.2 三角比の表の利用

三角比の表を使ってみよう。

θ	$\sin \theta$	$\cos \theta$	$\tan \theta$
0°	0.0000	1.0000	0.0000
1°	0.0175	0.9998	0.0175
2°	0.0349	0.9994	0.0349
3°	0.0523	0.9986	0.0524
4°	0.0698	0.9976	0.0699
5°	0.0872	0.9962	0.0875
6°	0.1045	0.9945	0.1051
7°	0.1219	0.9925	0.1228
8°	0.1392	0.9903	0.1405
9°	0.1564	0.9877	0.1584
10°	0.1736	0.9848	0.1763
⋮	⋮	⋮	⋮
45°	0.7071	0.7071	1.0000
46°	0.7193	0.6947	1.0355
47°	0.7314	0.6820	1.0724
48°	0.7431	0.6691	1.1106
49°	0.7547	0.6561	1.1504
⋮	⋮	⋮	⋮

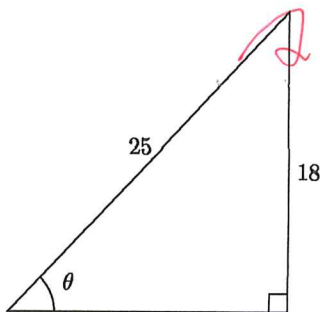
次の値を求めよ。

(1) $\sin 6^\circ \cong \underline{0.1045}$

(2) $\cos 8^\circ \cong \underline{0.9903}$

(3) $\tan 10^\circ \cong \underline{0.1763}$

以下の θ のおおよその値を三角比を用いて求めよ。



$$\begin{aligned} \therefore \theta &= \frac{18}{25} = \frac{18}{25} \times \frac{4}{4} \\ &= \frac{72}{100} = 0.72. \end{aligned}$$

上の表から、 $\sin \theta \cong 0.72 \cong 72\%$ であり、 46° 付近。

$\therefore \theta \cong \underline{46^\circ}$

問題

三角比の表を用いて以下のおおよその値を求めよ。

(1) $\sin 25^\circ$

$\underline{0.4226}$

(2) $\cos 67^\circ$

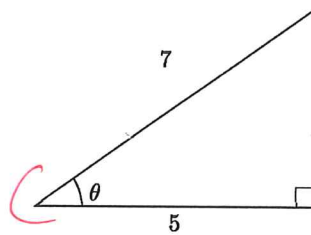
$\underline{0.3907}$

(3) $\tan 38^\circ$

$\underline{0.7813}$

以下の θ のおおよその値を三角比を用いて求めよ。

(1)

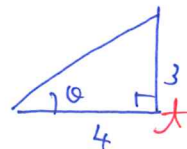
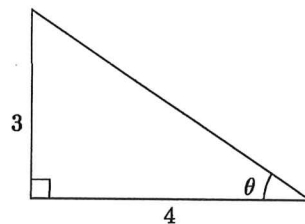


$$\begin{aligned} \cos \theta &= \frac{5}{7} \\ &\cong 0.714 \end{aligned}$$

$$\begin{array}{r} 0.714 \\ 7 \overline{) 5.0} \\ \underline{49} \\ 10 \\ \underline{7} \\ 30 \\ \underline{28} \\ 20 \end{array}$$

$\therefore \theta \cong \underline{44^\circ}$

(2)



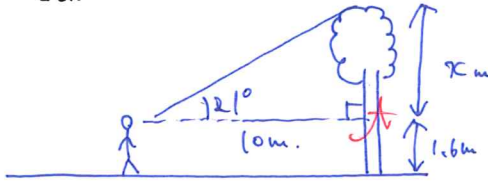
$$\begin{aligned} \tan \theta &= \frac{3}{4} \\ &= 0.75. \end{aligned}$$

$\therefore \theta \cong \underline{37^\circ}$

1.3 三角比の活用

文章問題を解いてみよう。

- (1) 木の根本から水平に 10 m 離れた地点に立って木の先端を見上げると、水平面とのなす角が 21° であった。目の高さを 1.6 m として、木の高さを求めよ。ただし、小数第 2 位を四捨五入せよ。



上図より、 $\tan 21^\circ = \frac{x}{10}$

$$x = 10 \times \tan 21^\circ$$

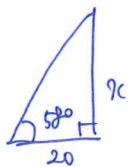
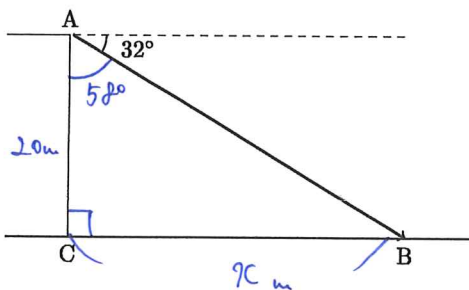
$$= 10 \cdot 0.3839$$

$$= 3.839$$

\therefore 木の高さは $3.839 + 1.6$
 $= 5.439$

約 5.4 m

- (2) 地上からの高さ 20 m の地点 A で地上の場所 B を見下ろしたら、その角は下の図のように水平面に対して 32° であった。B は、A の真下の地点 C から何 m 離れているか。1 m 未満を四捨五入して求めよ。



$$\frac{x}{20} = \tan 58^\circ$$

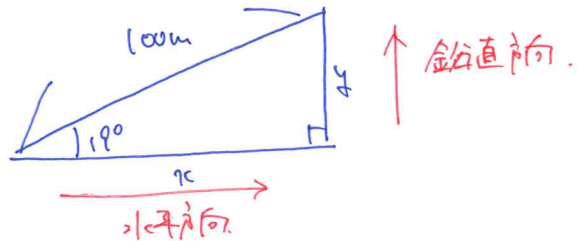
$$x = 20 \times 1.6003$$

$$= 32.006$$

\therefore 約 32 m

- (3) 傾斜角 19° の坂をまっすぐに 100 m 登る。このとき、以下の問いに 1 m 未満を四捨五入して答えよ。

- (a) 鉛直方向には何 m 上がることになるか。



$$\frac{y}{100} = \sin 19^\circ$$

$$\therefore y = 100 \times 0.3256$$

$$= 32.56$$

約 33 m

- (b) 水平方向には何 m 進むことになるか。

$$\cos 19^\circ = \frac{x}{100}$$

$$x = 100 \times \cos 19^\circ$$

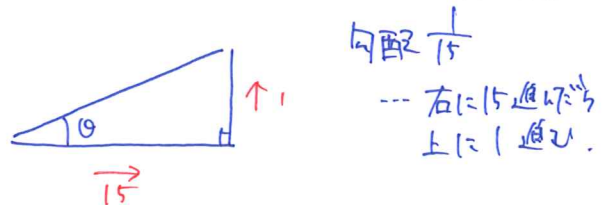
$$= 100 \times 0.9455$$

$$= 94.55$$

約 95 m

- (4) 車椅子用に屋外に設置するスロープについて、その勾配は $\frac{1}{15}$ 以下にするという基準がある。

スロープの基準を 1° 単位で設定する場合、この基準を満たすには、傾斜角は何度以下にしなければならないか。ここで、勾配とは、水平方向に 1 進ときに鉛直方向に上がる高さを表す。



$\tan \theta$ の値が $\frac{1}{15}$ 以下 (つまり $\frac{1}{15}$ 以下)

$$\frac{1}{15} = 0.066\dots$$

$\tan \theta$ の値が $0.066\dots$ 以下

\therefore 約 3° 以下

2 三角比の相互関係

2.1 三角比の相互関係

相互関係

$$(1) \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

$$(2) \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$$

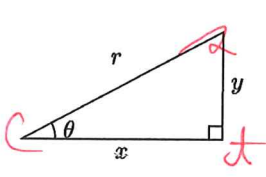
$$(3) 1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

証明しよう。

<proof>

(1) について

三角比の定義から、



$$\begin{aligned} \frac{y}{r} &= \sin \theta \\ \frac{x}{r} &= \cos \theta \\ \frac{y}{x} &= \tan \theta \end{aligned}$$

なので、

$$x = r \cos \theta, y = r \sin \theta \quad \dots (*)$$

$$\therefore \tan \theta = \frac{r \sin \theta}{r \cos \theta} = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad \text{--- (1)}$$

(2) について

上図の三角形において、三平方の定理より、

$$x^2 + y^2 = r^2$$

この式に (*) 代入して

$$(r \cos \theta)^2 + (r \sin \theta)^2 = r^2$$

$$\therefore \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad \text{--- (2)}$$

(3) について

(2) の式の辺々を $\cos^2 \theta$ で割ると、

$$\frac{\sin^2 \theta}{\cos^2 \theta} + 1 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$$\begin{aligned} \text{ここで (1) より } \tan \theta &= \frac{\sin \theta}{\cos \theta} & \text{なので、} \\ \tan^2 \theta + 1 &= \frac{1}{\cos^2 \theta} \end{aligned}$$

□

$$\begin{aligned} \text{⇔} & (\cos \theta)^2 = \frac{1}{1 + \tan^2 \theta} \\ & \cos^2 \theta = \frac{1}{1 + \tan^2 \theta} \end{aligned}$$

相互関係を用いて、1つの三角比から他の三角比を求めてみよう。

(1) θ は鋭角とする。 $\sin \theta = \frac{2}{3}$ のとき、 $\cos \theta, \tan \theta$ の値を求めよ。

<Ans>

$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$ から、

$$\begin{aligned} \cos^2 \theta &= 1 - \sin^2 \theta \\ &= 1 - \frac{4}{9} = \frac{5}{9} \end{aligned}$$

ここで、 $0^\circ < \theta < 90^\circ$ なので、

$$\cos \theta = \frac{\sqrt{5}}{3}$$

また、 $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$ から、

$$\tan \theta = \frac{\frac{2}{3}}{\frac{\sqrt{5}}{3}} = \frac{2}{\sqrt{5}}$$

(2) θ は鋭角とする。 $\cos \theta = \frac{1}{3}$ のとき、 $\sin \theta, \tan \theta$ の値を求めよ。

$$\begin{aligned} \sin^2 \theta + \cos^2 \theta &= 1 \\ \sin^2 \theta &= \frac{8}{9} \end{aligned}$$

$0^\circ < \theta < 90^\circ$ より $\sin \theta > 0$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \text{ より}$$

$$\tan \theta = 2\sqrt{2}$$

(3) θ は鋭角とする。 $\tan \theta = 2$ のとき、 $\cos \theta, \sin \theta$ の値を求めよ。

$$1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta} \text{ より}$$

$$1 + 4 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$$\cos^2 \theta = \frac{1}{5}$$

$0^\circ < \theta < 90^\circ$ より $\cos \theta > 0$

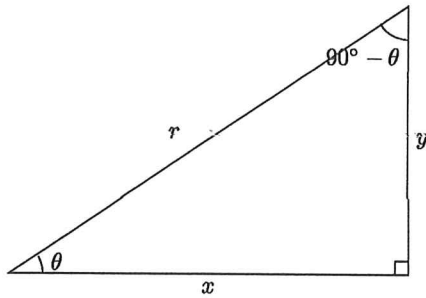
$$\therefore \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{5}}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \text{ より}$$

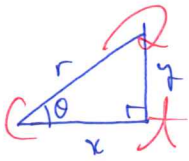
$$\begin{aligned} \sin \theta &= \tan \theta \cdot \cos \theta \\ &= 2 \cdot \frac{1}{\sqrt{5}} \end{aligned}$$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2}{\sqrt{5}}$$

2.2 $90^\circ - \theta$ の三角比

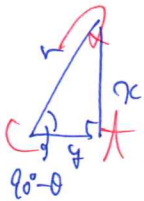


上の図から,



$$\begin{aligned}\sin \theta &= \frac{y}{r} \\ \cos \theta &= \frac{x}{r} \\ \tan \theta &= \frac{y}{x}\end{aligned}$$

また,



$$\begin{aligned}\sin(90^\circ - \theta) &= \frac{x}{r} \\ \cos(90^\circ - \theta) &= \frac{y}{r} \\ \tan(90^\circ - \theta) &= \frac{x}{y}\end{aligned}$$

よって、 $90^\circ - \theta$ の三角比は、 θ の三角比を用いて以下のように表すことができる。

$90^\circ - \theta$ の三角比

$$\begin{aligned}\sin(90^\circ - \theta) &= \cos \theta \\ \cos(90^\circ - \theta) &= \sin \theta \\ \tan(90^\circ - \theta) &= \frac{1}{\tan \theta}\end{aligned}$$

この関係式を用いて、ある三角比を別の角の三角比で表してみよう。

(1) $\sin 53^\circ = \cos 37^\circ$

(2) $\cos 86^\circ = \sin 4^\circ$

(3) $\tan 43^\circ = \frac{1}{\tan 47^\circ}$

本当に成り立っているのかを三角比の表で確認してみよう。

以下の () に適する鋭角の角度を入れよ。

(1) $\sin 64^\circ = \cos(26^\circ)$

(2) $\cos 34^\circ = \sin(56^\circ)$

(3) $\tan 29^\circ = \frac{1}{\tan(61^\circ)}$

以下の三角比を 45° 以下の三角比で表せ。

(1) $\sin 59^\circ = \cos 31^\circ$

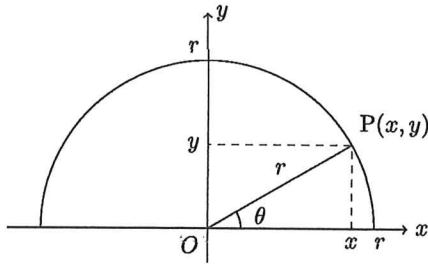
(2) $\cos 78^\circ = \sin 12^\circ$

(3) $\tan 81^\circ = \frac{1}{\tan 9^\circ}$

3 三角比の拡張

3.1 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ への拡張

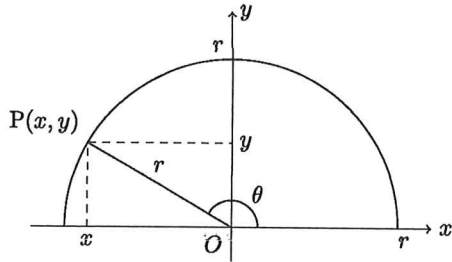
鋭角でしか考えることができなかった三角比を、鋭角以外でも考えることのできるように拡張しよう。



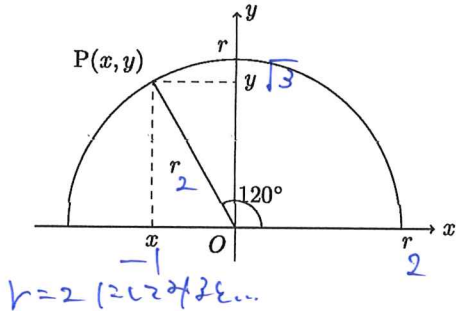
半径 r 上の円上の点を $P(x, y)$ とする。 x 軸の正の向きと OP のなす角を θ とし、三角比を以下のように定義。

$$\sin \theta = \frac{y}{r}, \quad \cos \theta = \frac{x}{r}, \quad \tan \theta = \frac{y}{x}$$

座標で定義することで、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ での三角比を定義できる。



この定義を用いて、 120° の三角比を求めてみよう。



(1) $\sin 120^\circ$

$$= \frac{y}{r} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

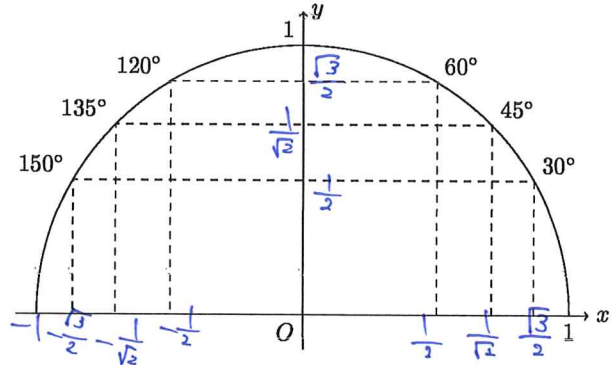
(2) $\cos 120^\circ$

$$= \frac{x}{r} = \frac{-1}{2} = -\frac{1}{2}$$

(3) $\tan 120^\circ$

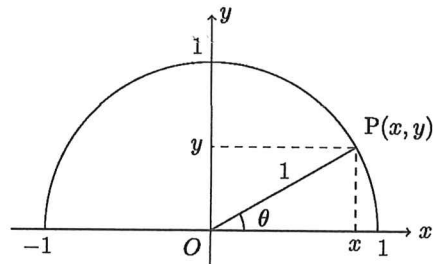
$$= -\sqrt{3}$$

三角比の値は、三角形の大きさ (円の半径の大きさ) に依らず決まるので、 $r=1$ として考えることが多い。(これを単位円という) 単位円を用いて、下の表を埋めてみよう。



θ	0°	30°	45°	60°	90°	120°	135°	150°	180°
$\sin \theta$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0
$\cos \theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1
$\tan \theta$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0

三角比についてまとめてみる。



単位円で考えると、点 P の座標 (x, y) は

$$x = \cos \theta, \quad y = \sin \theta$$

また、点 P は半円上にあることから、

$$0 \leq y \leq 1, \quad -1 \leq x \leq 1$$

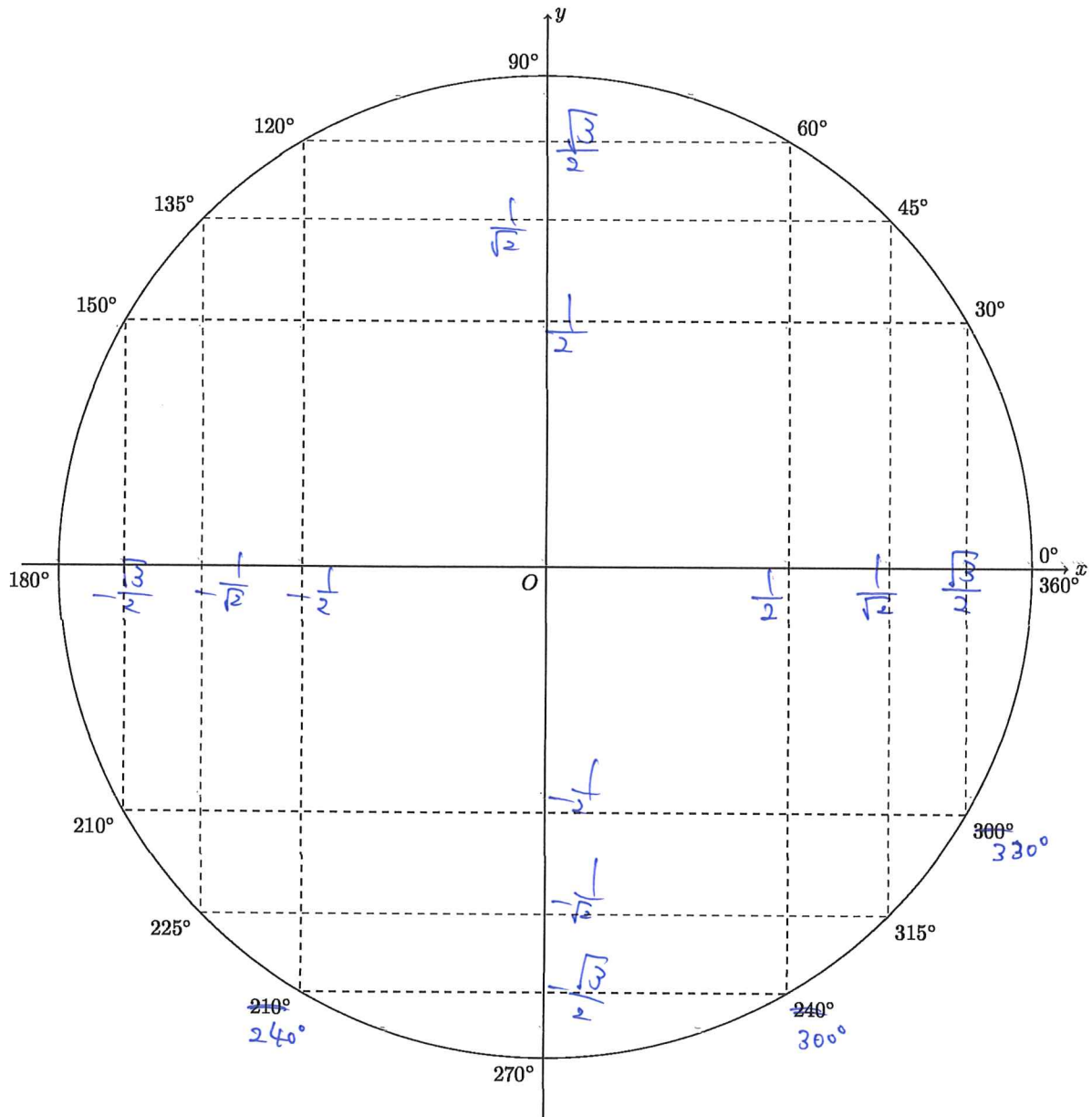
なので、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、

$$0 \leq \sin \theta \leq 1, \quad -1 \leq \cos \theta \leq 1$$

$\tan \theta = \frac{y}{x}$ なので、 $\tan \theta$ は直線 OP の傾き

3.2 更なる拡張 (+α)

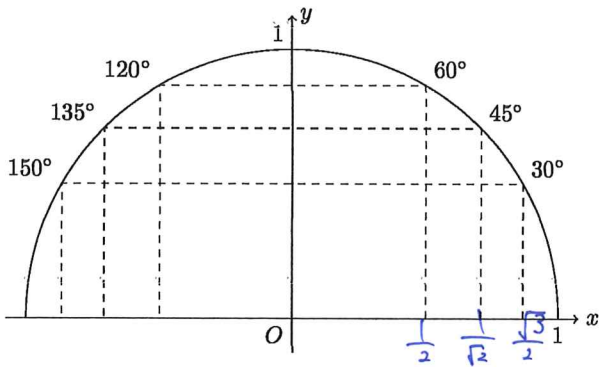
同様にして 360° まで拡張することもできる。単位円で考えてみよう。



θ	0°	30°	45°	60°	90°	120°	135°	150°	180°	210°	225°	240°	270°	300°	315°	330°
$\sin \theta$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{1}{2}$
$\cos \theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{1}{2}$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$
$\tan \theta$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$

3.3 $180^\circ - \theta$ の三角比

復習



θ	0°	30°	45°	60°	90°	120°	135°	150°	180°
$\sin \theta$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0
$\cos \theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1
$\tan \theta$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0

90°を境に、異符号.

上の表から天下りの的に性質を見つけよう.

$180^\circ - \theta$ の三角比

$$\sin(180^\circ - \theta) = \sin \theta$$

$$\cos(180^\circ - \theta) = -\cos \theta$$

$$\tan(180^\circ - \theta) = -\tan \theta$$

以下の三角比を鋭角の三角比で表せ.

(1) $\sin 124^\circ = \sin 56^\circ$

(2) $\cos 134^\circ = -\cos 46^\circ$

(3) $\tan 157^\circ = -\tan 23^\circ$

以下の値を, 三角比の表を用いて求めよ

(1) $\sin 159^\circ = \sin 21^\circ$
 $\approx \underline{0.3524}$

(2) $\cos 178^\circ = -\cos 2^\circ$
 $= \underline{-0.9994}$

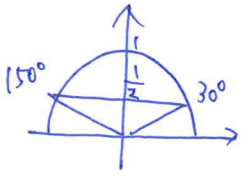
(3) $\tan 151^\circ = -\tan 29^\circ$
 $= \underline{-0.5543}$

単位円を揃え!!

3.4 三角比の等式

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、次の等式を満たす θ の値を求めよ。

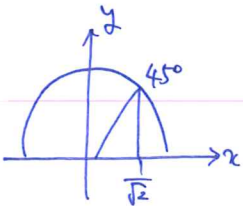
(1) $\sin \theta = \frac{1}{2}$



左図から、

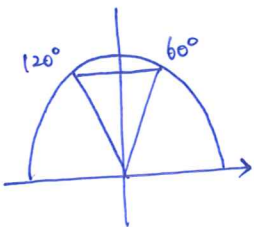
$\theta = 30^\circ, 150^\circ$

(2) $\cos \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$



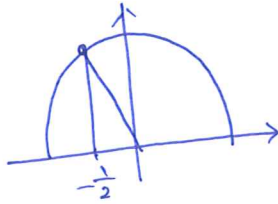
左図から、 45°

(3) $\sin \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$



左図から、 $\theta = 60^\circ, 120^\circ$

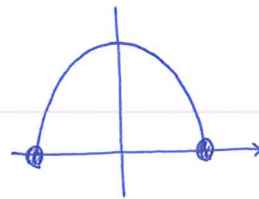
(4) $\cos \theta = -\frac{1}{2}$



左図から、

$\theta = 120^\circ$

(5) $\sin \theta = 0$

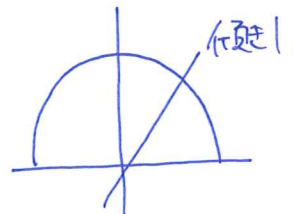


$\frac{1}{\sqrt{10}} > 0$.

i.e. 左図から、

$\theta = 0^\circ, 180^\circ$

(6) $\tan \theta = 1$



傾き 1.

左図から、

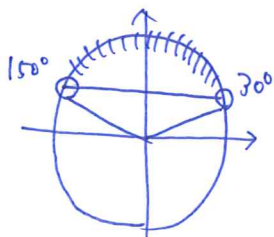
$\theta = 45^\circ$

単位円で!!

3.5 三角比の不等式

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ のとき、次の等式を満たす θ の値の範囲を求めよ。

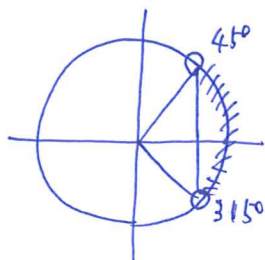
(1) $\sin \theta > \frac{1}{2}$



左図より

$$30^\circ < \theta < 150^\circ$$

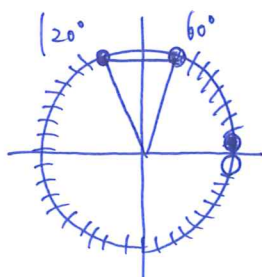
(2) $\cos \theta > \frac{1}{\sqrt{2}}$



左図より

$$0^\circ \leq \theta < 45^\circ, \\ 315^\circ < \theta < 360^\circ$$

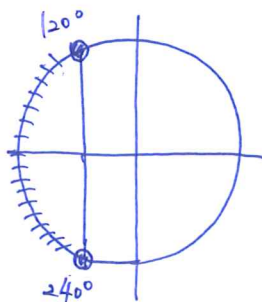
(3) $\sin \theta \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$



左図より

$$0^\circ \leq \theta \leq 60^\circ, \\ 120^\circ \leq \theta < 360^\circ$$

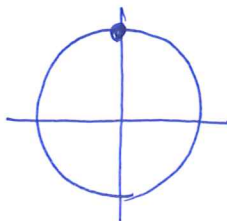
(4) $\cos \theta \leq -\frac{1}{2}$



左図より

$$120^\circ \leq \theta \leq 240^\circ$$

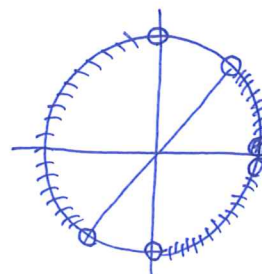
(5) $\sin \theta \geq 1$



左図より

$$\theta = 90^\circ$$

(6) $\tan \theta < 1$ ↪ 傾き | 2/1 | 1



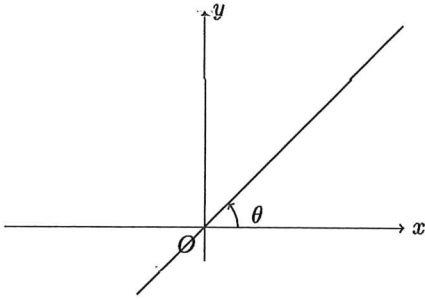
傾き | 2/1 | 1

$$0^\circ \leq \theta < 45^\circ, \\ 90^\circ < \theta < 270^\circ, \\ 270^\circ < \theta < 360^\circ$$

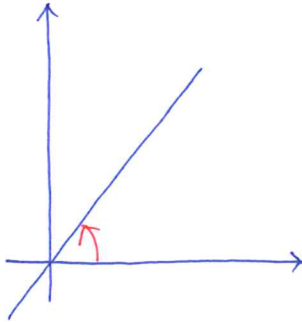
3.6 直線の傾きと $\tan \theta$

☆ $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ 程度.

下の図のように、 x 軸の正の部分から、反時計回りに直線まで測った角度を直線と x 軸の正の向きとのなす角という。

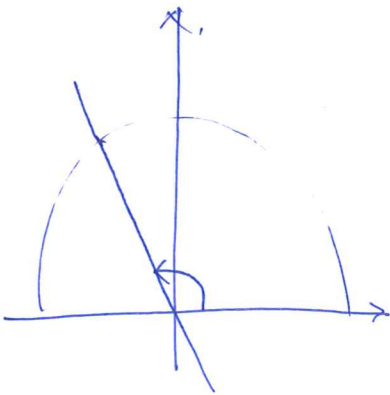


(1) 直線 $y = x$ と x 軸の正の向きとのなす角を求めよ。



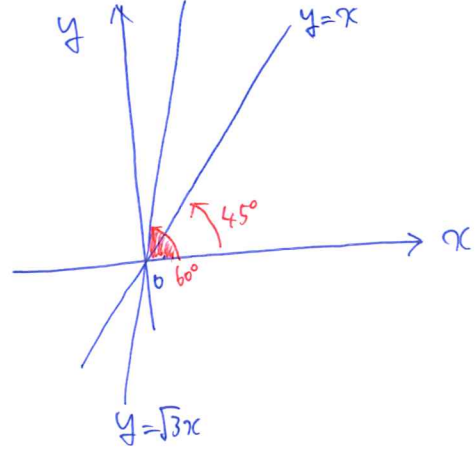
45°

(2) 直線 $y = -\sqrt{3}x$ と x 軸の正の向きとのなす角を求めよ。



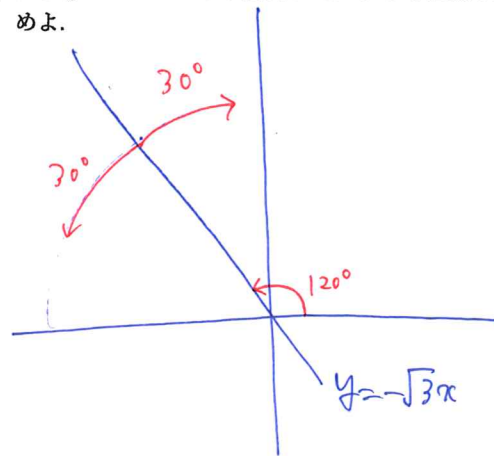
120°

(3) 直線 $y = x$ と直線 $y = \sqrt{3}x$ のなす鋭角を求めよ。



上図より、 $60^\circ - 45^\circ = \underline{15^\circ}$

(4) 直線 $y = -\sqrt{3}x$ とのなす鋭角が 30° になる直線の方程式を求めよ。



上図より、 $x=0, y = -\frac{1}{\sqrt{3}}x$

3.7 相互関係

復習

相互関係

$$(1) \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

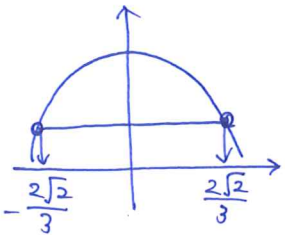
$$(2) \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1.$$

$$(3) 1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする. $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$ のうち, 1 つが次の値をとるとき, 他の 2 つの値を求めよ.

(1) $\sin \theta = \frac{1}{3}$

$$\begin{aligned} \sin^2 \theta + \cos^2 \theta &= 1 \\ \cos^2 \theta &= \frac{8}{9} \\ \cos \theta &= \pm \frac{2\sqrt{2}}{3} \end{aligned}$$



$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad \text{∴}$$

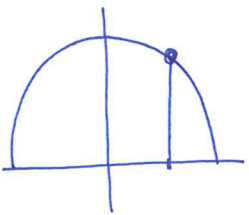
(i) $\cos \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3}$ かつ

$$\tan \theta = \frac{1}{2\sqrt{2}}$$

(ii) $\cos \theta = -\frac{2\sqrt{2}}{3}$ かつ

$$\tan \theta = -\frac{1}{2\sqrt{2}}$$

(2) $\cos \theta = \frac{3}{5}$



$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$$

$$\sin^2 \theta = \frac{16}{25}$$

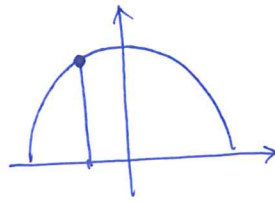
左図 ∴ $\sin \theta > 0$ ∴

$$\sin \theta = \frac{4}{5}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad \text{∴}$$

$$\tan \theta = \frac{4}{3}$$

(3) $\cos \theta = -\frac{1}{3}$



$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad \text{∴}$$

$$\sin^2 \theta = \frac{8}{9}$$

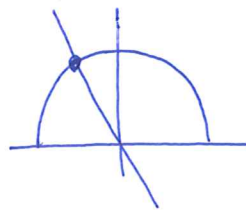
左図 ∴ $\sin \theta > 0$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad \text{∴}$$

$$\tan \theta = -2\sqrt{2}$$

(4) $\tan \theta = -2$



$$1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta} \quad \text{∴}$$

$$1 + 4 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$$\cos^2 \theta = \frac{1}{5}$$

右図 ∴ $\cos \theta < 0$

$$\therefore \cos \theta = -\frac{1}{\sqrt{5}}$$

$$\text{∴ } \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

$$\sin \theta = \tan \theta \cdot \cos \theta$$

$$= -2 \cdot \frac{1}{\sqrt{5}}$$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2}{\sqrt{5}}$$

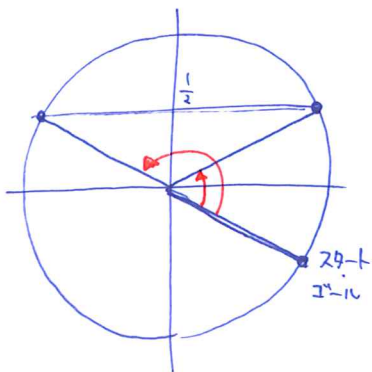
1周のみ

30° 逆もどしでエ地点から1周のみ

3.8 始点のズレた三角比の方程式

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ のとき、以下の方程式、不等式を解け。

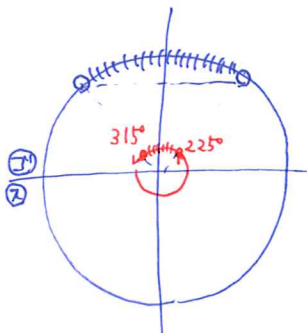
(1) $\sin(\theta - 30^\circ) = \frac{1}{2}$



左図より

$\theta = 60^\circ, 120^\circ$

(4) $\sin(\theta - 180^\circ) > \frac{1}{\sqrt{2}}$

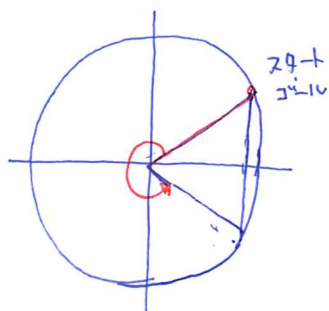


左図より

$225^\circ < \theta < 315^\circ$

30° 逆もどしでエ地点から1周のみ

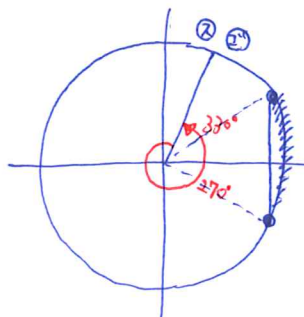
(2) $\cos(\theta + 30^\circ) = \frac{\sqrt{3}}{2}$



左図より

$\theta = 0^\circ, 300^\circ$

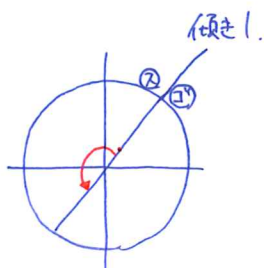
(5) $\cos(\theta + 60^\circ) \geq \frac{\sqrt{3}}{2}$



左図より

$30^\circ \leq \theta \leq 330^\circ$

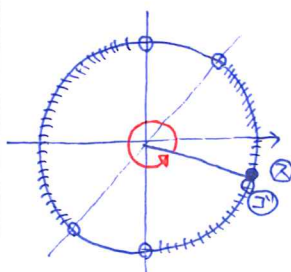
(3) $\tan(\theta + 45^\circ) = 1$



左図より

$\theta = 0^\circ, 180^\circ$

(6) $\tan(\theta - 30^\circ) < 1$



左図より

$0^\circ \leq \theta < 120^\circ,$
 $120^\circ < \theta < 255^\circ,$
 $300^\circ < \theta < 360^\circ$

4 角の拡張

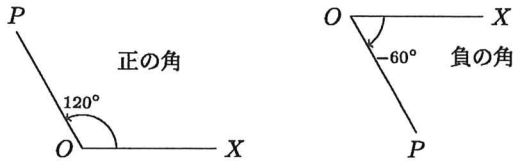
4.1 拡張

角を負の世界へ拡張しよう。

平面上で、点 O を中心として半直線 OP を回転させる。

このとき、半直線 OP のことを動径

動径の最初の位置である半直線 OX のことを始線

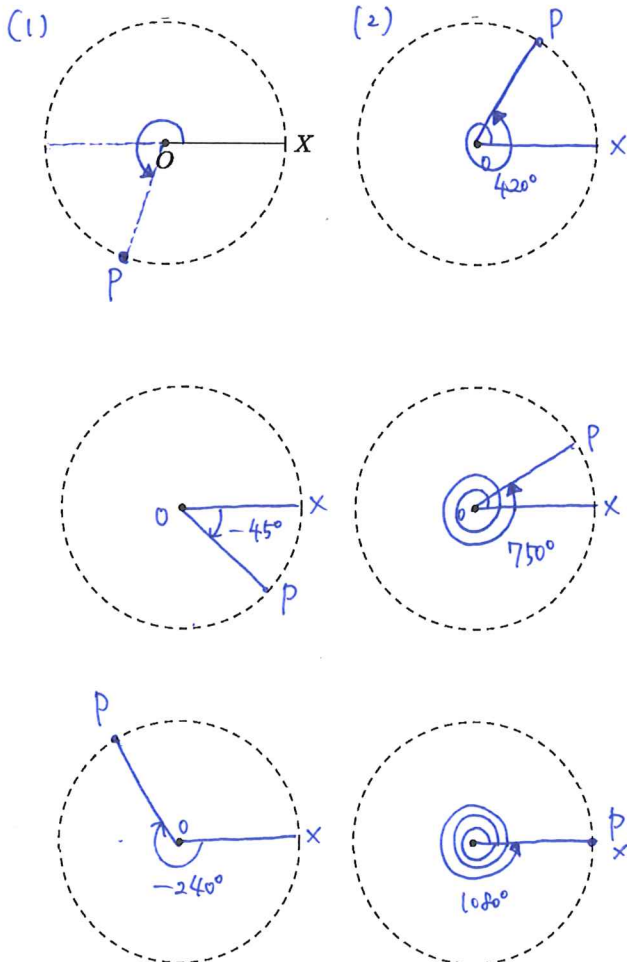


上図のように、反時計回りに測った回転の角を「正の角」、時計回りに測った回転の角を「負の角」という。

問題

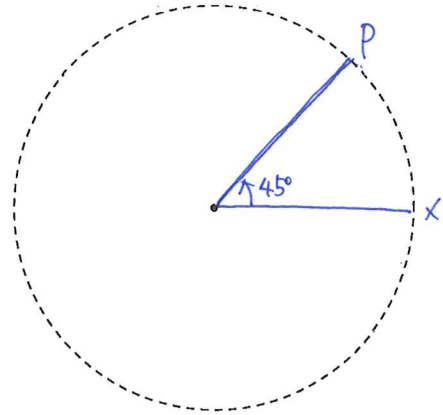
次の動径を図示せよ。

- (1) 260°
- (2) $420^\circ = 360^\circ + 60^\circ$
- (3) -45°
- (4) $750^\circ = 360^\circ + 360^\circ + 30^\circ$
- (5) -240°
- (6) $1080^\circ = 360^\circ + 360^\circ + 360^\circ$



問題

- (1) 45° の動径と同じ位置にある角度を正、負それぞれ2つずつあげよ。



$$45^\circ + 360^\circ = 405^\circ$$

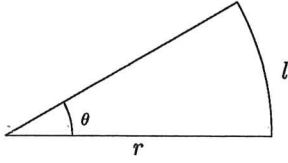
$$45^\circ + 360^\circ + 360^\circ = 765^\circ$$

$$45^\circ - 360^\circ = -315^\circ$$

$$45^\circ - 360^\circ - 360^\circ = -675^\circ$$

角度 θ に対し動径の位置は、 360° 回転するごとに一致する。

4.2 弧度法



定義 (弧度法)

半径 r , 弧長 l に対し,

$$\theta = \frac{l}{r} \text{ (rad)}$$

と定義する.

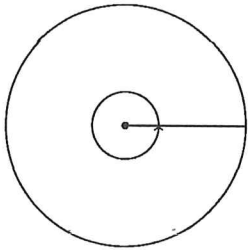
単位 (rad) はラジアンと読む. 省略することが多い.

ラジアンに円の大きさには関係しないので, 半径 1 で考えると便利である.

例

360° を弧度法で表す.

$$\boxed{\text{円周} \dots 2\pi r}$$



半径 1 の円の弧長 (円周) は

$$\underline{2\pi} \text{ なので,}$$

$$360^\circ = 2\pi$$

問題

度数法で表された角度を弧度法で表せ.

(1) 30°

$$\begin{aligned} &\times \frac{1}{12} \swarrow 360^\circ = 2\pi \\ &30^\circ = \underline{\frac{1}{6}\pi} \end{aligned}$$

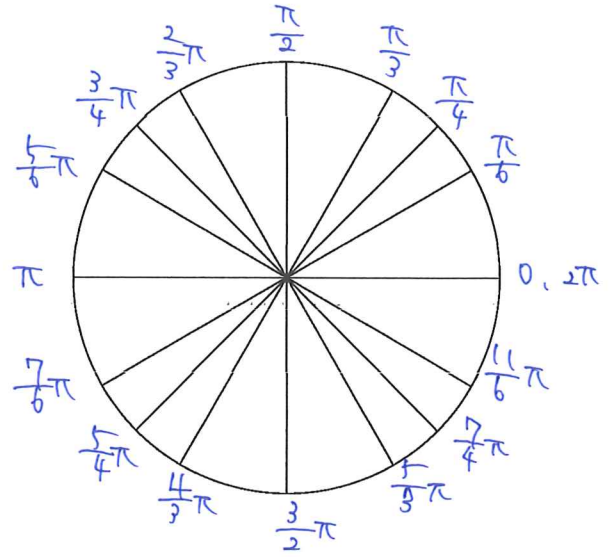
(2) 120°

$$\begin{aligned} &\times \frac{1}{3} \swarrow 360^\circ = 2\pi \\ &120^\circ = \underline{\frac{2}{3}\pi} \end{aligned}$$

(3) 270°

$$\begin{aligned} &\times \frac{3}{4} \swarrow 360^\circ = 2\pi \\ &270^\circ = \underline{\frac{3}{2}\pi} \end{aligned}$$

下の図に弧度法で角度を書き入れよう.

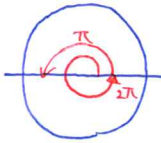


問題

次の角度を $0 \leq \theta < 2\pi$ の弧度法で表せ.

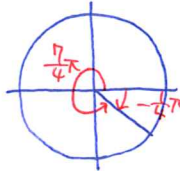
(1) 3π

$$= 2\pi + \pi$$



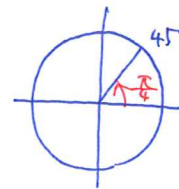
$$\underline{\frac{\pi}{4}}$$

(2) $-\frac{1}{4}\pi = \frac{7}{4}\pi - 2\pi$



$$\underline{\frac{7}{4}\pi}$$

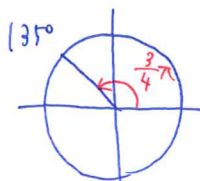
(3) 45°



$$\underline{\frac{\pi}{4}}$$

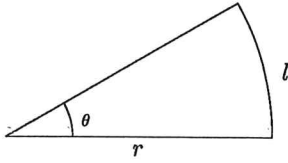
(4) 495°

$$= 360^\circ + 135^\circ$$



$$\underline{\frac{3}{4}\pi}$$

4.3 扇形



弧度法の定義より,

$$\theta = \frac{l}{r} \text{ (rad)}$$

なので,

$$\text{弧長 } l = r\theta$$

次に, 円の面積 πr^2 に対して, 扇形の面積を考える.

円 1 周 2π に対し, 扇形は角度 θ 分であるので, 扇形の面積 S は

$$\begin{aligned} S &= \pi r^2 \times \frac{\theta}{2\pi} \\ &= \frac{1}{2} r^2 \theta \end{aligned}$$

問題

以下の扇形の弧長 l と面積 S を求めよ.

(1) 半径 4, 中心角 $\frac{1}{2}\pi$

$$l = r\theta = 4 \cdot \frac{1}{2}\pi = \underline{2\pi} \text{H}$$

$$S = \frac{1}{2} r^2 \theta = \frac{1}{2} \cdot 4^2 \cdot \frac{1}{2}\pi = \underline{4\pi} \text{H}$$

(2) 半径 2, 中心角 $\frac{7}{6}\pi$

$$l = 2 \cdot \frac{7}{6}\pi = \underline{\frac{7}{3}\pi} \text{H}$$

$$S = \frac{1}{2} \cdot 2^2 \cdot \frac{7}{6}\pi = \underline{\frac{7}{3}\pi} \text{H}$$

(3) 半径 3, 中心角 $\frac{5}{3}\pi$

$$l = 3 \cdot \frac{5}{3}\pi = \underline{5\pi} \text{H}$$

$$S = \frac{1}{2} \cdot 3^2 \cdot \frac{5}{3}\pi = \underline{\frac{15}{2}\pi} \text{H}$$

6 加法定理

6.1 計算練習

「75°の三角比を求めたい。」(←目標)

加法定理

$$\sin(\alpha \pm \beta) = \sin\alpha \cos\beta \pm \cos\alpha \sin\beta$$

$$\cos(\alpha \pm \beta) = \cos\alpha \cos\beta \mp \sin\alpha \sin\beta$$

$$\tan(\alpha \pm \beta) = \frac{\tan\alpha \pm \tan\beta}{1 \mp \tan\alpha \tan\beta}$$

(複号同順)

加法定理を使って75°の三角比を求めてみよう。

$$75^\circ = 30^\circ + 45^\circ \text{ 75°}$$

$$\sin 75^\circ = \sin(30^\circ + 45^\circ)$$

$$= \sin 30^\circ \cdot \cos 45^\circ + \cos 30^\circ \cdot \sin 45^\circ$$

$$= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{1 + \sqrt{3}}{2\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2} + \sqrt{6}}{4} //$$

$$\cos 75^\circ = \cos(30^\circ + 45^\circ)$$

$$= \cos 30^\circ \cdot \cos 45^\circ - \sin 30^\circ \cdot \sin 45^\circ$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} - \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} //$$

$$\tan 75^\circ = \tan(30^\circ + 45^\circ)$$

$$= \frac{\tan 30^\circ + \tan 45^\circ}{1 - \tan 30^\circ \cdot \tan 45^\circ}$$

$$= \frac{\frac{1}{\sqrt{3}} + 1}{1 - \frac{1}{\sqrt{3}} \cdot 1}$$

$$= \frac{\frac{1}{\sqrt{3}} + 1}{1 - \frac{1}{\sqrt{3}}} = \frac{1 + \sqrt{3}}{\sqrt{3} - 1} = 2 + \sqrt{3} //$$

計算練習

(1) 15°の三角比を求めよ。

$$15^\circ = 45^\circ - 30^\circ \text{ 75°}$$

$$\sin 15^\circ = \sin(45^\circ - 30^\circ)$$

$$= \sin 45^\circ \cdot \cos 30^\circ - \cos 45^\circ \cdot \sin 30^\circ$$

$$= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{2}$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} //$$

$$\cos 15^\circ = \cos(45^\circ - 30^\circ)$$

$$= \cos 45^\circ \cdot \cos 30^\circ + \sin 45^\circ \cdot \sin 30^\circ$$

$$= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{2}$$

$$= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} //$$

$$\tan 15^\circ = \frac{\sin 15^\circ}{\cos 15^\circ}$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{\sqrt{6} + \sqrt{2}} = 2 - \sqrt{3} //$$

(2) $\frac{11}{12}\pi$ の三角比を求めよ。

$$\frac{11}{12}\pi = \frac{3}{4}\pi + \frac{1}{6}\pi \text{ 75°}$$

$$\sin \frac{11}{12}\pi = \sin\left(\frac{3}{4}\pi + \frac{1}{6}\pi\right)$$

$$= \sin \frac{3}{4}\pi \cdot \cos \frac{1}{6}\pi + \cos \frac{3}{4}\pi \cdot \sin \frac{1}{6}\pi$$

$$= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} + \left(-\frac{1}{\sqrt{2}}\right) \cdot \frac{1}{2}$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} //$$

$$\cos \frac{11}{12}\pi = \cos\left(\frac{3}{4}\pi + \frac{1}{6}\pi\right)$$

$$= \cos \frac{3}{4}\pi \cdot \cos \frac{1}{6}\pi - \sin \frac{3}{4}\pi \cdot \sin \frac{1}{6}\pi$$

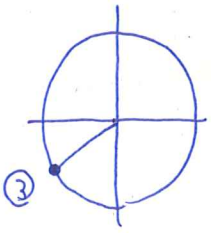
$$= -\frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{2}$$

$$= -\frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} //$$

$$\tan \frac{11}{12}\pi = \frac{\sin \frac{11}{12}\pi}{\cos \frac{11}{12}\pi}$$

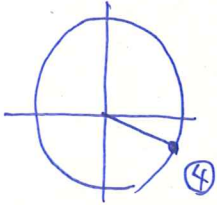
$$= -\frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{\sqrt{6} + \sqrt{2}} = -(2 + \sqrt{3}) //$$

- (3) α の動径が第3象限, β の動径が第4象限にあり,
 $\sin \alpha = -\frac{3}{5}, \cos \beta = \frac{4}{5}$ のとき, 以下の問いに答えよ.
 (a) $\cos \alpha$ の値を求めよ.



$$\begin{aligned} R^2 \alpha + \cos^2 \alpha &= |r|^2 \\ \cos^2 \alpha &= \frac{16}{25} \\ \text{左図から, } \cos \alpha & \text{は } \textcircled{-4} \\ \therefore \cos \alpha &= \underline{\underline{-\frac{4}{5}}} \end{aligned}$$

- (b) $\sin \beta$ の値を求めよ.



$$\begin{aligned} R^2 \beta + \cos^2 \beta &= |r|^2 \\ R^2 \beta &= \frac{9}{25} \\ \text{左図から, } R \beta & \text{は } \textcircled{-3} \\ \therefore R \beta &= \underline{\underline{-\frac{3}{5}}} \end{aligned}$$

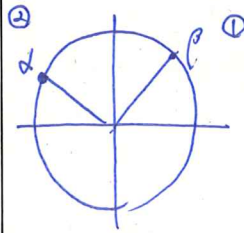
- (c) $\sin(\alpha + \beta)$ の値を求めよ.

$$\begin{aligned} R \sin(\alpha + \beta) &= R \alpha \cos \beta + \cos \alpha R \beta \\ &= -\frac{3}{5} \cdot \frac{4}{5} + \left(-\frac{4}{5}\right) \cdot \left(-\frac{3}{5}\right) \\ &= \underline{\underline{0}} \end{aligned}$$

- (d) $\cos(\alpha - \beta)$ の値を求めよ.

$$\begin{aligned} \cos(\alpha - \beta) &= \cos \alpha \cos \beta + R \alpha R \beta \\ &= \left(-\frac{4}{5}\right) \cdot \frac{4}{5} + \left(-\frac{3}{5}\right) \cdot \left(-\frac{3}{5}\right) \\ &= \frac{-16}{5} + \frac{9}{5} = \underline{\underline{-\frac{7}{5}}} \end{aligned}$$

- (4) α の動径が第2象限, β の動径が第1象限にあり,
 $\sin \alpha = \frac{2}{3}, \cos \beta = \frac{3}{5}$ のとき, $\sin(\alpha - \beta), \cos(\alpha + \beta)$ の値を
 求めよ.



$$\begin{aligned} R^2 \alpha + \cos^2 \beta &= |r|^2 \\ \cos^2 \alpha &= \frac{5}{9} \\ R^2 \beta &= \frac{16}{25} \end{aligned}$$

∴ 左図から, $\cos \alpha$ は $\textcircled{-\frac{\sqrt{5}}{3}}$, $R \beta$ は $\textcircled{\frac{4}{5}}$

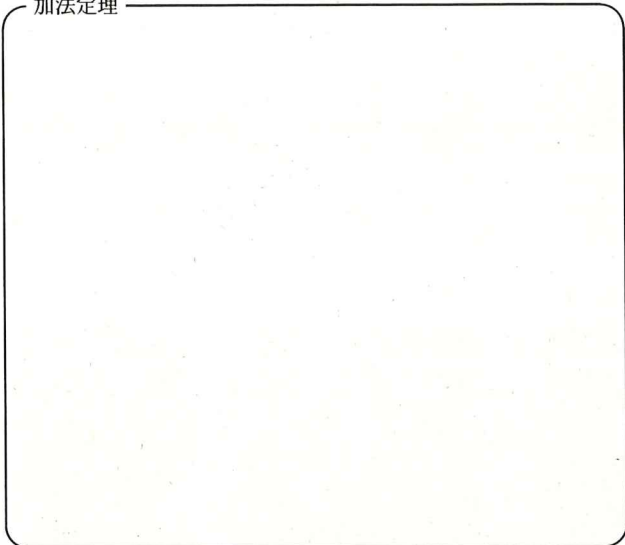
$$\therefore \cos \alpha = -\frac{\sqrt{5}}{3}, R \beta = \frac{4}{5}$$

$$\begin{aligned} R \sin(\alpha - \beta) &= R \alpha \cos \beta - \cos \alpha R \beta \\ &= \frac{2}{3} \cdot \frac{3}{5} - \left(-\frac{\sqrt{5}}{3}\right) \cdot \frac{4}{5} \\ &= \frac{6}{15} + \frac{4\sqrt{5}}{15} \\ &= \underline{\underline{\frac{6 + 4\sqrt{5}}{15}}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cos(\alpha + \beta) &= \cos \alpha \cos \beta - R \alpha R \beta \\ &= \left(-\frac{\sqrt{5}}{3}\right) \cdot \frac{3}{5} - \frac{2}{3} \cdot \frac{4}{5} \\ &= \underline{\underline{\frac{-3\sqrt{5} - 2}{15}}} \end{aligned}$$

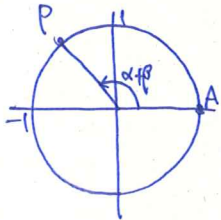
6.2 証明

加法定理



<証明>

左図に示す。



$A(1,0)$

$P(\cos(\alpha+\beta), \sin(\alpha+\beta))$

よって

$$\begin{aligned} AP^2 &= 1^2 + (\sin(\alpha+\beta))^2 - 2 \cdot 1 \cdot \cos(\alpha+\beta) \\ &= 1 + \sin^2(\alpha+\beta) - 2 \cos(\alpha+\beta) \\ &= 2 - 2 \cos(\alpha+\beta) \end{aligned}$$

同様に $Q(\cos \alpha, \sin \alpha)$

$R(\cos \beta, \sin \beta)$

よって $\cos(\alpha-\beta) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$

$\sin(\alpha-\beta) = \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta$

よって

$$\begin{aligned} QR^2 &= (\cos \alpha - \cos \beta)^2 + (\sin \alpha - \sin \beta)^2 \\ &= \cos^2 \alpha - 2 \cos \alpha \cos \beta + \cos^2 \beta + \sin^2 \alpha - 2 \sin \alpha \sin \beta + \sin^2 \beta \\ &= 2 - 2 \cos \alpha \cos \beta - 2 \sin \alpha \sin \beta \end{aligned}$$

中心角が同じよって $AP = QR$

$\therefore AP^2 = QR^2$

$2 - 2 \cos(\alpha+\beta) = 2 - 2 \cos \alpha \cos \beta - 2 \sin \alpha \sin \beta$

よって $\cos(\alpha+\beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$

よって $\beta \in (-\pi, \pi)$

$\cos(\alpha-\beta) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$ (2)

よって $\cos(\frac{\pi}{2}-\theta) = \sin \theta$

(2) の α を $\frac{\pi}{2}-\alpha$ とおくと

$$\begin{aligned} (2) &= \cos(\frac{\pi}{2}-\alpha-\beta) \\ &= \cos(\frac{\pi}{2}-(\alpha+\beta)) \\ &= \sin(\alpha+\beta) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) &= \cos(\frac{\pi}{2}-\alpha) \cos \beta + \sin(\frac{\pi}{2}-\alpha) \sin \beta \\ &= \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta \end{aligned}$$

$\therefore \sin(\alpha+\beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$

よって $\beta \in (-\pi, \pi)$

$$\begin{aligned} \sin(\alpha-\beta) &= \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta \end{aligned} \quad (1)$$

よって $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$

$$\begin{aligned} \tan(\alpha+\beta) &= \frac{\sin(\alpha+\beta)}{\cos(\alpha+\beta)} \\ &= \frac{\sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta}{\cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta} \end{aligned}$$

よって $\cos \alpha \cos \beta \neq 0$

$$\begin{aligned} (2) &= \frac{\frac{\sin \alpha \cos \beta}{\cos \alpha \cos \beta} + \frac{\cos \alpha \sin \beta}{\cos \alpha \cos \beta}}{\frac{\cos \alpha \cos \beta}{\cos \alpha \cos \beta} - \frac{\sin \alpha \sin \beta}{\cos \alpha \cos \beta}} \\ &= \frac{\tan \alpha + \tan \beta}{1 - \tan \alpha \tan \beta} \end{aligned}$$

$\therefore \tan(\alpha+\beta) = \frac{\tan \alpha + \tan \beta}{1 - \tan \alpha \tan \beta}$

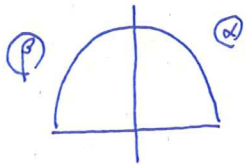
よって $\beta \in (-\pi, \pi)$

$$\tan(\alpha-\beta) = \frac{\tan \alpha - \tan \beta}{1 + \tan \alpha \tan \beta}$$

$$= \frac{\tan \alpha - \tan \beta}{1 + \tan \alpha \tan \beta} \quad (3)$$

6.3 演習

(1) $\sin \alpha = \frac{3}{5}$ ($0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$), $\cos \beta = -\frac{4}{5}$ ($\frac{\pi}{2} < \beta < \pi$) のとき, $\sin(\alpha + \beta)$, $\cos(\alpha - \beta)$, $\tan(\alpha - \beta)$ の値を求めよ.



$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad (*)$$

$$\cos^2 \alpha = \frac{16}{25}$$

$$\sin^2 \beta = \frac{9}{25}$$

上図より $\cos \alpha > 0$, $\sin \beta > 0$

$$\therefore \cos \alpha = \frac{4}{5}, \sin \beta = \frac{3}{5}$$

$$\begin{aligned} \sin(\alpha + \beta) &= \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta \\ &= \frac{3}{5} \cdot \left(-\frac{4}{5}\right) + \frac{4}{5} \cdot \frac{3}{5} \end{aligned}$$

$$= 0$$

$$\begin{aligned} \cos(\alpha - \beta) &= \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta \\ &= \frac{4}{5} \cdot \left(-\frac{4}{5}\right) + \frac{3}{5} \cdot \frac{3}{5} \end{aligned}$$

$$= -\frac{7}{25}$$

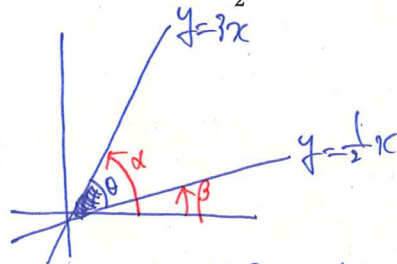
$$\tan(\alpha - \beta) = \frac{\tan \alpha - \tan \beta}{1 + \tan \alpha \tan \beta}$$

$$\therefore \tan \alpha = \frac{3}{4}, \tan \beta = -\frac{3}{4}$$

$$\begin{aligned} \tan(\alpha - \beta) &= \frac{\frac{3}{4} - \left(-\frac{3}{4}\right)}{1 + \frac{3}{4} \cdot \left(-\frac{3}{4}\right)} \\ &= \frac{\frac{6}{4}}{1 - \frac{9}{16}} = \frac{\frac{6}{4}}{\frac{7}{16}} \end{aligned}$$

$$= \frac{6 \cdot 16^{\cancel{4}}}{7 \cdot 4} = \frac{24}{7}$$

(2) 2 直線 $y = 3x$, $y = \frac{1}{2}x$ のなす鋭角を求めよ.



左図より $\alpha, \beta \in \theta$.

求める角は

$$\theta = \alpha - \beta$$

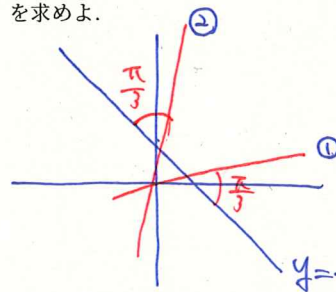
$$\therefore \tan \alpha = 3, \tan \beta = \frac{1}{2}$$

$$\begin{aligned} \tan \theta &= \tan(\alpha - \beta) \\ &= \frac{\tan \alpha - \tan \beta}{1 + \tan \alpha \tan \beta} \\ &= \frac{3 - \frac{1}{2}}{1 + 3 \cdot \frac{1}{2}} = 1 \end{aligned}$$

$$\tan \theta = 1 \quad \theta = \text{鋭角} \Rightarrow \theta = \frac{\pi}{4}$$

$$\theta = \frac{\pi}{4}$$

(3) 原点を通り, 直線 $y = -x + 1$ と $\frac{1}{3}\pi$ の角をなす直線の方程式を求めよ.



① は x 軸よりなす角は $\frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{4} = \frac{1}{6}\pi$.

② は, $\frac{3}{4}\pi - \frac{1}{3}\pi = \frac{5}{12}\pi$.

\therefore 求める直線の傾きは,

$$\textcircled{1} \tan \frac{1}{6}\pi = \frac{\tan \frac{\pi}{3} - \tan \frac{\pi}{4}}{1 + \tan \frac{\pi}{3} \cdot \tan \frac{\pi}{4}}$$

$$= \frac{\sqrt{3} - 1}{1 + \sqrt{3}} = 2 - \sqrt{3}$$

$$\textcircled{2} \tan \frac{5}{12}\pi = \frac{\tan \frac{3}{4}\pi - \tan \frac{\pi}{3}}{1 + \tan \frac{3}{4}\pi \cdot \tan \frac{\pi}{3}}$$

$$= \frac{-1 - \sqrt{3}}{1 - \sqrt{3}} = 2 + \sqrt{3}$$

\therefore 求める直線は

$$y = (2 - \sqrt{3})x, \quad y = (2 + \sqrt{3})x$$

7 加法定理の応用

7.1 復習

加法定理を思い出す。

$$(1) \sin(\alpha + \beta) = \sin\alpha \cos\beta + \cos\alpha \sin\beta$$

$$(2) \sin(\alpha - \beta) = \sin\alpha \cos\beta - \cos\alpha \sin\beta$$

$$(3) \cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha \cos\beta - \sin\alpha \sin\beta$$

$$(4) \cos(\alpha - \beta) = \cos\alpha \cos\beta + \sin\alpha \sin\beta$$

$$(5) \tan(\alpha + \beta) = \frac{\tan\alpha + \tan\beta}{1 - \tan\alpha \tan\beta}$$

$$(6) \tan(\alpha - \beta) = \frac{\tan\alpha - \tan\beta}{1 + \tan\alpha \tan\beta}$$

計算練習

$$(1) \sin\left(\frac{1}{3}\pi + \frac{1}{4}\pi\right) = \sin\frac{1}{3}\pi \cdot \cos\frac{1}{4}\pi + \cos\frac{1}{3}\pi \cdot \sin\frac{1}{4}\pi$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

$$(2) \cos\left(\frac{1}{12}\pi\right) \quad \frac{1}{12}\pi = \frac{1}{3}\pi - \frac{1}{4}\pi$$

$$= \cos\left(\frac{1}{3}\pi - \frac{1}{4}\pi\right)$$

$$= \cos\frac{1}{3}\pi \cdot \cos\frac{1}{4}\pi + \sin\frac{1}{3}\pi \cdot \sin\frac{1}{4}\pi$$

$$= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}}$$

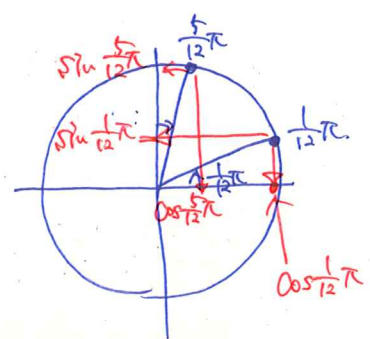
$$= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

$$(3) \sin\left(\frac{1}{12}\pi\right) = \sin\left(\frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{4}\right)$$

$$= \sin\frac{\pi}{3} \cdot \cos\frac{\pi}{4} - \cos\frac{\pi}{3} \cdot \sin\frac{\pi}{4}$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} - \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$$



$$(4) \sin\left(\frac{5}{12}\pi\right) = \cos\frac{1}{12}\pi = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$$

$$(5) \cos\left(\frac{5}{12}\pi\right) = \sin\frac{1}{12}\pi = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4}$$

$$(6) \tan\left(\frac{5}{12}\pi\right) = \frac{\sin\frac{5}{12}\pi}{\cos\frac{5}{12}\pi} = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{\sqrt{6} - \sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}(\sqrt{3} + 1)}{\sqrt{2}(\sqrt{3} - 1)} = \frac{2 + \sqrt{3}}{4}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{7.2} \quad \sin(\alpha+\beta) &= \sin\alpha \cos\beta + \cos\alpha \sin\beta \\ \cos(\alpha+\beta) &= \cos\alpha \cos\beta - \sin\alpha \sin\beta \\ \tan(\alpha+\beta) &= \frac{\tan\alpha + \tan\beta}{1 - \tan\alpha \tan\beta} \end{aligned}$$

7.2 2倍角

考える

$2\alpha = \alpha + \alpha$ と考えることで、 2α の三角比を考える。

(1) $\sin(\alpha + \alpha)$ を α の三角比で表そう。

$$\begin{aligned} &= \sin\alpha \cdot \cos\alpha + \cos\alpha \cdot \sin\alpha \\ &= \underline{\underline{2 \sin\alpha \cos\alpha}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

(2) $\cos(\alpha + \alpha)$ を α の三角比で表そう。

$$\begin{aligned} &= \cos\alpha \cdot \cos\alpha - \sin\alpha \cdot \sin\alpha \\ &= \underline{\underline{\cos^2\alpha - \sin^2\alpha}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

(3) $\cos(\alpha + \alpha)$ を $\sin\alpha$ で表そう。

$$\begin{aligned} &= \cos^2\alpha - \sin^2\alpha \\ &= (1 - \sin^2\alpha) - \sin^2\alpha \\ &= \underline{\underline{1 - 2\sin^2\alpha}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \sin^2\alpha + \cos^2\alpha &= 1 \\ \cos^2\alpha &= 1 - \sin^2\alpha \end{aligned}$$

(4) $\cos(\alpha + \alpha)$ を $\cos\alpha$ で表そう。

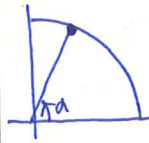
$$\begin{aligned} &= \cos^2\alpha - \sin^2\alpha \\ &= \cos^2\alpha - (1 - \cos^2\alpha) \\ &= \underline{\underline{2\cos^2\alpha - 1}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

(5) $\tan(\alpha + \alpha)$ を $\tan\alpha$ で表そう。

$$\begin{aligned} &= \frac{\tan\alpha + \tan\alpha}{1 - \tan\alpha \tan\alpha} \\ &= \underline{\underline{\frac{2\tan\alpha}{1 - \tan^2\alpha}}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

練習問題

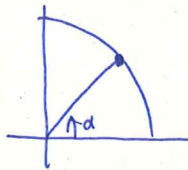
(1) $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$ で、 $\sin\alpha = \frac{4}{5}$ のとき、 $\sin 2\alpha$ の値を求めよ。



$$\begin{aligned} \sin^2\alpha + \cos^2\alpha &= 1 \\ \cos\alpha &= \frac{3}{5} \end{aligned}$$

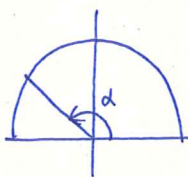
$$\begin{aligned} \sin 2\alpha &= 2 \sin\alpha \cdot \cos\alpha \\ &= 2 \cdot \frac{4}{5} \cdot \frac{3}{5} = \underline{\underline{\frac{24}{25}}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

(2) $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$ で、 $\sin\alpha = \frac{3}{5}$ のとき、 $\cos 2\alpha$ の値を求めよ。



$$\begin{aligned} \cos 2\alpha &= 1 - 2\sin^2\alpha \\ &= 1 - 2 \cdot \left(\frac{3}{5}\right)^2 \\ &= 1 - \frac{18}{25} = \underline{\underline{\frac{7}{25}}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

(3) $\frac{\pi}{2} < \alpha < \pi$ で、 $\cos\alpha = -\frac{\sqrt{5}}{3}$ のとき、 $\sin 2\alpha$, $\cos 2\alpha$, $\tan 2\alpha$ の値を求めよ。



$$\begin{aligned} \sin^2\alpha + \cos^2\alpha &= 1 \\ \sin\alpha &= \frac{2}{3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \sin 2\alpha &= 2 \sin\alpha \cos\alpha \\ &= 2 \cdot \frac{2}{3} \cdot \left(-\frac{\sqrt{5}}{3}\right) = \underline{\underline{-\frac{4\sqrt{5}}{9}}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cos 2\alpha &= \cos^2\alpha - \sin^2\alpha \\ &= \frac{5}{9} - \frac{4}{9} = \underline{\underline{\frac{1}{9}}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \tan 2\alpha &= \frac{\sin 2\alpha}{\cos 2\alpha} \\ &= \frac{-\frac{4\sqrt{5}}{9}}{\frac{1}{9}} = \underline{\underline{-4\sqrt{5}}} \quad \checkmark \end{aligned}$$

和差定数里

$$\begin{aligned} \cos(\theta+\theta) &= \cos\theta \cdot \cos\theta - \sin\theta \cdot \sin\theta \\ &= \cos^2\theta - \sin^2\theta \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \sin^2\theta + \cos^2\theta &= 1 \quad \therefore \cos^2\theta = 1 - \sin^2\theta \\ \sin^2\theta &= 1 - \cos^2\theta \end{aligned}$$

7.3 半角

$$\cos 2\theta = 1 - 2\sin^2\theta, \quad \cos 2\theta = 2\cos^2\theta - 1$$

を式変形して,

$$\sin^2\theta = \frac{1 - \cos 2\theta}{2}, \quad \cos^2\theta = \frac{1 + \cos 2\theta}{2}$$

また,

$$\tan^2\theta = \frac{1 - \cos 2\theta}{1 + \cos 2\theta}$$

θ を $\frac{\theta}{2}$ に置き換えて,

半角

$$\sin^2 \frac{\theta}{2} = \frac{1 - \cos \theta}{2}$$

$$\cos^2 \frac{\theta}{2} = \frac{1 + \cos \theta}{2}$$

$$\tan^2 \frac{\theta}{2} = \frac{1 - \cos \theta}{1 + \cos \theta}$$

練習

(1) $\cos \frac{\pi}{8}$ の値を求めよ.

$$\cos 2\theta = 2\cos^2\theta - 1 \quad (\because)$$

$$\cos \frac{1}{4}\pi = 2\cos^2 \frac{1}{8}\pi - 1$$

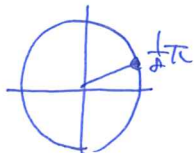
$$\frac{1}{\sqrt{2}} = 2\cos^2 \frac{1}{8}\pi - 1$$

$$2\cos^2 \frac{1}{8}\pi = \frac{1}{\sqrt{2}} + 1$$

$$= \frac{1 + \sqrt{2}}{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{\sqrt{2} + 2}{2}$$

$$\therefore \cos^2 \frac{1}{8}\pi = \frac{2 + \sqrt{2}}{4}$$



左図より

$$\cos \frac{1}{8}\pi > 0 \quad \therefore \cos \frac{1}{8}\pi > 0$$

$$\cos \frac{1}{8}\pi = \sqrt{\frac{2 + \sqrt{2}}{4}}$$

$$= \frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{2}$$

—————

(2) $\sin \frac{\pi}{8}$ の値を求めよ.

$$\cos 2\theta = 1 - 2\sin^2\theta \quad (\because)$$

$$\cos \frac{1}{4}\pi = 1 - 2\sin^2 \frac{1}{8}\pi$$

$$\frac{1}{\sqrt{2}} = 1 - 2\sin^2 \frac{1}{8}\pi$$

$$\begin{aligned} 2\sin^2 \frac{1}{8}\pi &= 1 - \frac{1}{\sqrt{2}} \\ &= \frac{\sqrt{2} - 1}{\sqrt{2}} \end{aligned}$$

左下図より

$$\sin \frac{1}{8}\pi > 0 \quad (\because)$$

$$\therefore \sin^2 \frac{1}{8}\pi = \frac{2 - \sqrt{2}}{4}$$

$$\sin \frac{1}{8}\pi = \frac{\sqrt{2 - \sqrt{2}}}{2}$$

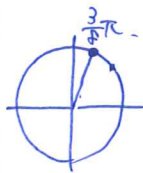
(3) $\cos \frac{3\pi}{8}$ の値を求めよ.

(1) と同様にして.

$$\cos \frac{3}{4}\pi = 2\cos^2 \frac{3}{8}\pi - 1$$

$$2\cos^2 \frac{3}{8}\pi = 1 - \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\cos^2 \frac{3}{8}\pi = \frac{2 - \sqrt{2}}{4}$$



左図より $\cos \frac{3}{8}\pi < 0$

$$\therefore \cos \frac{3}{8}\pi = -\frac{\sqrt{2 - \sqrt{2}}}{2}$$

(4) $\tan \frac{3\pi}{8}$ の値を求めよ.

同様にして $\cos \frac{3}{8}\pi = \frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{2}$

$$\tan \frac{3}{8}\pi = \frac{\sin \frac{3}{8}\pi}{\cos \frac{3}{8}\pi}$$

$$= \frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{\sqrt{2 - \sqrt{2}}} \times \frac{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}{\sqrt{2 + \sqrt{2}}}$$

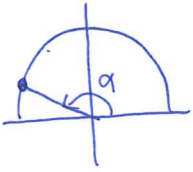
$$= \frac{2 + \sqrt{2}}{\sqrt{4 - 2}}$$

$$= \frac{2 + \sqrt{2}}{\sqrt{2}}$$

$$= \sqrt{2} + 1$$

練習

(1) $\frac{\pi}{2} < \alpha < \pi$ で, $\cos \alpha = -\frac{4}{5}$ のとき, $\cos \frac{\alpha}{2}$ の値を求めよ.



$$\cos 2\theta = 2\cos^2\theta - 1 \quad (2')$$

$$\cos \alpha = 2\cos^2 \frac{\alpha}{2} - 1$$

$$2\cos^2 \frac{\alpha}{2} = \cos \alpha + 1$$

$$\cos^2 \frac{\alpha}{2} = \frac{\cos \alpha + 1}{2}$$

$$= \frac{-\frac{4}{5} + 1}{2}$$

$$= \frac{\frac{1}{5}}{2}$$

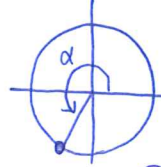
$$= \frac{1}{10}$$

左上図より,

$$\cos \frac{\alpha}{2} < 0$$

$$\therefore \cos \frac{\alpha}{2} = -\frac{1}{\sqrt{10}}$$

(2) $\pi < \alpha < \frac{3\pi}{2}$ で, $\cos \alpha = -\frac{1}{4}$ のとき, $\sin \frac{\alpha}{2}$, $\cos \frac{\alpha}{2}$, $\tan \frac{\alpha}{2}$ の値を求めよ.



(2')

$$\cos 2\theta = 1 - 2\sin^2\theta \quad (1)$$

$$\cos 2\theta = 2\cos^2\theta - 1$$

$$\cos \alpha = 1 - 2\sin^2 \frac{\alpha}{2}$$

$$-\frac{1}{4} = 1 - 2\sin^2 \frac{\alpha}{2}$$

$$-\frac{5}{4} = -2\sin^2 \frac{\alpha}{2}$$

$$\sin^2 \frac{\alpha}{2} = \frac{5}{8}$$

左上図より $\sin \frac{\alpha}{2} < 0$

$$\therefore \sin \frac{\alpha}{2} = -\frac{\sqrt{5}}{2\sqrt{2}}$$

$$= -\frac{\sqrt{10}}{4}$$

$$\sin^2 \frac{\alpha}{2} + \cos^2 \frac{\alpha}{2} = 1 \quad (2')$$

$$\frac{10}{16} + \cos^2 \frac{\alpha}{2} = 1$$

$$\cos^2 \frac{\alpha}{2} = \frac{6}{16}$$

左上図より $\cos \frac{\alpha}{2} < 0$

$$\therefore \cos \frac{\alpha}{2} = -\frac{\sqrt{6}}{4}$$

$$\tan \frac{\alpha}{2} = \frac{\sin \frac{\alpha}{2}}{\cos \frac{\alpha}{2}} \quad (2')$$

$$\tan \frac{\alpha}{2} = \frac{-\frac{\sqrt{10}}{4}}{-\frac{\sqrt{6}}{4}} = -\frac{\sqrt{5}}{\sqrt{3}}$$

$$= -\frac{\sqrt{15}}{3}$$

加法定理

$$\sin(\alpha \pm \beta) = \sin\alpha \cos\beta \pm \cos\alpha \sin\beta$$

8 三角関数の合成

問題

以下の方程式を解け。 ($0 \leq \theta < 2\pi$)

$$\sqrt{3} \sin x + \cos x = 1$$

$$2 \cdot \left(\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x + \frac{1}{2} \cos x \right) = 1$$

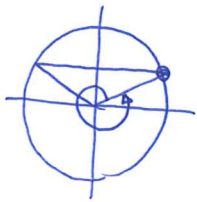
$$\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x + \frac{1}{2} \cos x = \frac{1}{2}$$

$$\cos \frac{1}{6}\pi \cdot \sin x + \sin \frac{1}{6}\pi \cdot \cos x = \frac{1}{2}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{6}\pi + \cos x \cdot \sin \frac{1}{6}\pi = \frac{1}{2}$$

加法定理

$$\sin \left(x + \frac{1}{6}\pi \right) = \frac{1}{2}$$



左図より

$$\theta = 0, \frac{2}{3}\pi$$

最終的に「加法定理」を用いておくと、
 2つの $\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{1}{2}$ に対応する角は、

問題

以下の不等式を解け。 ($0 \leq \theta < 2\pi$)

$$\sin x - \sqrt{3} \cos x \leq 1$$

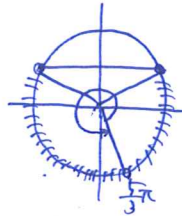
$$2 \left(\frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \right) \leq 1$$

$$\frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \leq \frac{1}{2}$$

$$\sin x \cdot \left(\frac{1}{2} \right) + \cos x \cdot \left(-\frac{\sqrt{3}}{2} \right) \leq \frac{1}{2}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{5}{3}\pi + \cos x \cdot \sin \frac{5}{3}\pi \leq \frac{1}{2}$$

$$\sin \left(x + \frac{5}{3}\pi \right) \leq \frac{1}{2}$$



左図より

$$0 \leq \theta \leq \frac{1}{2}\pi,$$

$$\frac{7}{6}\pi \leq \theta < 2\pi$$

<別解>

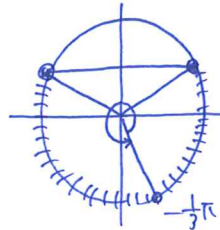
$$2 \left(\frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \right) \leq 1$$

$$\frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \leq \frac{1}{2}$$

$$\sin x \cdot \left(\frac{1}{2} \right) - \cos x \cdot \left(\frac{\sqrt{3}}{2} \right) \leq \frac{1}{2}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{3}\pi - \cos x \cdot \sin \frac{1}{3}\pi \leq \frac{1}{2}$$

$$\sin \left(x - \frac{1}{3}\pi \right) \leq \frac{1}{2}$$



左図より

$$0 \leq \theta \leq \frac{1}{2}\pi,$$

$$\frac{7}{6}\pi \leq \theta < 2\pi$$

スタート地点からのズレが少なくなる
 計算ミス減る?

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、以下の方程式を解け.

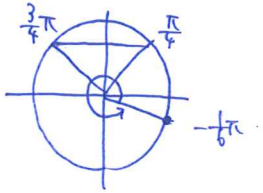
(1) $\sqrt{3} \sin x - \cos x = \sqrt{2}$

$$2 \cdot \left(\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x - \frac{1}{2} \cos x \right) = \sqrt{2}$$

$$\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x - \frac{1}{2} \cos x = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{6}\pi - \cos x \cdot \sin \frac{1}{6}\pi = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\sin \left(x - \frac{1}{6}\pi \right) = \frac{1}{\sqrt{2}}$$



左図より

$$\theta = \frac{\pi}{6} + \frac{\pi}{4}, \frac{\pi}{6} + \frac{3}{4}\pi$$

$$= \frac{5}{12}\pi, \frac{11}{12}\pi$$

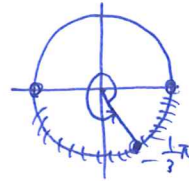
(3) $\sin x - \sqrt{3} \cos x \leq 0$

$$2 \left(\frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \right) \leq 0$$

$$\frac{1}{2} \sin x - \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x \leq 0$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{\pi}{3} - \cos x \cdot \sin \frac{\pi}{3} \leq 0$$

$$\sin \left(x - \frac{1}{3}\pi \right) \leq 0$$



左図より

$$0 \leq \theta \leq \frac{1}{3}\pi, \frac{4}{3}\pi \leq \theta < 2\pi$$

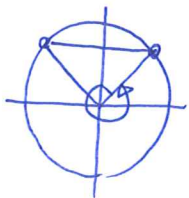
(2) $\sin x + \cos x = 1$

$$\sqrt{2} \left(\frac{1}{\sqrt{2}} \sin x + \frac{1}{\sqrt{2}} \cos x \right) = 1$$

$$\frac{1}{\sqrt{2}} \sin x + \frac{1}{\sqrt{2}} \cos x = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{4}\pi + \cos x \cdot \sin \frac{1}{4}\pi = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\sin \left(x + \frac{1}{4}\pi \right) = \frac{1}{\sqrt{2}}$$



左図より

$$\theta = 0, \frac{1}{2}\pi$$

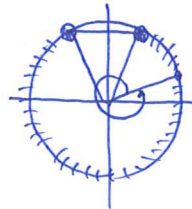
(4) $\sqrt{3} \sin x + \cos x \leq \sqrt{3}$

$$2 \left(\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x + \frac{1}{2} \cos x \right) \leq \sqrt{3}$$

$$\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x + \frac{1}{2} \cos x \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\sin x \cdot \cos \frac{1}{6}\pi + \cos x \cdot \sin \frac{1}{6}\pi \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\sin \left(x + \frac{1}{6}\pi \right) \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$$



左図より

$$0 \leq \theta \leq \frac{1}{6}\pi, \frac{\pi}{2} \leq \theta < 2\pi$$